

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 238 号	氏名	穉山 雄一郎
学位審査委員	主査	松山 俊文	
	副査	関根 一郎	
	副査	増崎 英明	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>全身性強皮症 (SSc) の発症においては自己免疫の関与が考えられ、B 細胞の異常な活性化に伴う種々の自己抗体の産生と特定の病型との相関が認められている。本研究では最近 B 細胞腫瘍であるバーキットリンパ腫症例で見出された転写因子 ATF-2 に対する自己抗体である抗 ATF-2 抗体の SSc における産生と臨床像との相関を検討しようとしたものであり目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>SSc 患者 69 例、健常者 26 例の血清を用いて抗 ATF-2 抗体の有無を ELISA 法、免疫ブロット法にて検討した。更に細胞から抽出された活性化 ATF を用いてその標的 DNA 配列結合へ対する抗 ATF-2 抗体の阻害効果について検討した。これらの研究手法は目的に沿った妥当なものである。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>本研究から IgG 型抗 ATF-2 抗体が SSc 患者に存在し、その陽性率は血沈の亢進や肺病変と相関することが明らかとなった。これらの研究成果は SSc の臨床診断へ寄与するところが大きく高く評価できる。</p> <p>審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			